

本免効果測定4

1. 横断歩道の手前に駐車車両がある場合は、前方に出る前に一時停止をしなければならない。
2. 車が左折をする時は、あらかじめできるだけ道路の左端により、交差点の側端に沿って徐行する。
3. 同一方向に進行しながら進路変更を行う場合は、進路を変えようとするときの約3秒前に合図を行う。
4. オートマチック車の発進の際には、Lレンジ(マニュアル車のローギア)を使い、車速に合わせてセカンドレンジやDレンジにシフトアップする。
5. 高速道路を走行時、総排気量125ccの自動二輪車は、時速80km以下で走行しなければならない。
6. こう配の急な下り坂のカーブに図1のような標示がある場合は、矢印の通り道路の右側部分にはみ出して通行しなければならない。
7. 一方通行の道路を通行中、緊急車両が近づいてきたら、必ず左側に寄って一時停止をしなければならない。
8. 原動機付自転車に荷物を載せる場合、積載装置の幅から、左右それぞれ0.3mはみ出して乗せることができる。
9. 安全にカーブを曲がるためには、カーブに入る前の直線部分で早めにブレーキをかけ、十分に速度を落とす必要がある。
10. 高速道路でやむを得ず停止をする場合は、停止表示器材を置かなければならないため、予め準備しておく。
11. 自転車を押して歩いている人は、歩行者として扱われる。
12. 日中でも50m先、高速道路では200m先が見えないような場所を通行する場合は、ライトをつけなければならない。
13. 赤色の点滅信号は、一時停止をし、他の交通の安全を確認したのちに進むことができる。
14. 曲がり角での追い越しは、速やかに終わらせる必要がある。
15. 標識や標示で制限速度が指定されている道路でも、法定速度で走ることができる。
16. 同一方向に3以上の車両通行帯があるときは、交通事故防止のため、開いている車両通行帯を選んで走る。
17. 後輪タイヤが横滑りを始めた時は、アクセルを離し、すぐにブレーキを踏んで止めるようにする。
18. 道路の曲がり角から10m以内の場所は、駐停車してはいけない。
19. 前の車が自動車を追い越そうとしている時に、その前の車を追い越すと二重追い越しになる。
20. 速度の出しすぎ、急ハンドルなどが原因で、後輪の横滑りを引き起こすことがある。
21. ドライバーが疲れてくると「空走距離」が長くなり、結果的には「停止距離」も長くなる。
22. 右折するとき方向指示器などで合図を行う場合は、右折しようとする地点から10mの地点に達したときに合図を行うのがよい。
23. 道路と並行して駐停車している車の横に並んで駐停車してはいけない。
24. 普通自動車は、歩道や路側帯のない道路では、道路の左端から0.5mの部分にはみ出して通行してはいけない。
25. 同一方向に3つ以上の車両通行帯がある場合は、もっとも左側の車線は追い越しなどのために空けておき、それ以外の通行帯を通行する。
26. 停留所に停止しているバスが発進の合図をしたので、進路を譲った。
27. 免許条件に眼鏡の条件があったが、目的地がすぐ近くだったので、眼鏡をかけずに運転した。
28. 交通事故で怪我をした場合は、例え軽い怪我であっても必ず医師の診断を受ける必要がある。
29. タイヤの点検は、空気圧のみだけでなく、著しい亀裂や損傷、異常な磨耗、釘や石その他異物が刺さっていないかを点検する。
30. 図2の標識がある場所に差し掛かったが、見通しがよかったので警音器は鳴らさずに通行した。
31. 歩行者専用道路は、徐行をすれば車も通行することができる。
32. 坂道では上り坂での発進が難しいため、どんな場合であっても下りの車が上りの車に道を譲らなければならない。
33. 車両通行帯の線が黄色の線で区画されているところでは、黄色の線を越えて進路を変更してはいけない。
34. 下り坂では、車間距離を多くとる必要がある。
35. カーブを曲がるときに、車が外側に飛び出していこうとする力を遠心力という。
36. 急に進路変更が必要になった時は、安全確認が出来なくても仕方がない。
37. 運転者が疲れてくると、空走距離は長くなるが停止距離は変わらない。
38. たとえ優先道路を通行中であっても、交差点から30m以内の場所では追い越しをしてはいけない。
39. 横断歩道や自転車横断帯とその手前30m以内では、追い越しも追い抜きもしてはならない。
40. 高速道路では、荷物が転落、飛散しやすくなるので前もって点検し、荷物を積みなおすなどの措置をする必要がある。
41. 夜間、見通しの悪い交差点に入る前に、前照灯を上下に切り替えて、他の車や歩行者に自車の接近を知らせた。
42. 雨天時にタイヤのグリップ力が落ちるが、特に舗装道路では雨の降り始めのときにスリップしやすくなる。
43. 赤色の灯火の点滅信号では、安全が確認できれば徐行して通行することができる。
44. 免許証の有効期限が切れた状態で運転すると、無免許運転になる。
45. 原動機付自転車の積荷の高さ制限は、地上から1.5mまでである。

図1



図2



46. 緊急自動車を運転する場合には、その自動車の運転に必要な運転免許証のほかに、運転経験年数や年齢など特別な資格が必要である。
47. 時速60kmでコンクリートの壁に激突した場合は、約14mの高さから落ちた場合と同じ程度の衝撃力を受けることになる。
48. 交差点で信号が青から黄色に変わったので、急ブレーキをかけて停止線を過ぎたところで車を停止させた。
49. 交差点とその端から10m以内の場所では、駐停車禁止場所である。
50. 進路変更を積極的に行わないと、円滑な交通の妨げとなる。
51. 夜間運転する時は、視線をできるだけ先に向けるようにし、障害物を早く発見するよう意識して走る。
52. 道路工事などのため、道路の左側部分だけでは通行することができないような時は、右側にはみ出して通行することができる。
53. 前方に園児たちが乗り降りしているバスが止まっている時は、乗り降りが終わるまで後方で停止して待たなければならない。
54. 追い越しを行おうとしたが、道路の曲がり角にさしかかっていたので追い越しをするのをやめた。
55. エンジンオイルが不足すると、エンジンの過熱につながる。
56. 高速道路の路肩や路側帯を通行してもよい。
57. 火災報知機から1m以内の場所で、車を停車させた。
58. 図3の標識は、近くに学校・幼稚園があることを表している。
59. 安全地帯は車の通行が禁止されている。
60. 青色の灯火の矢印と黄色の灯火の矢印信号は、それぞれ同じ意味を表している。
61. 自動車は一定の時期に検査を受けて、検査標章を車の前面ガラスに表示しなければならない。
62. 原付で30kgを超える重量の荷物を積んで運転した。
63. 運転する際の座席の位置は、クラッチを踏んだときに膝がしっかりとびきるところで合わせるのがよい。
64. 風邪薬や精神安定剤などの多くは、反応時間を遅らせる原因になるため運転前に服用しないほうがよい。
65. ミニカーは普通自動車なので、高速道路を通行できる。
66. 道路工事の区域とその端から5m以内は駐車が禁止されている。
67. 車が曲がる時には、前輪よりも後輪が内側を通過していくが、これを内輪差という。
68. 近くに交差点がない場所で緊急自動車の進路を譲る場合は、道路の左側による。
69. 雨でわだちに水がたまっていたが、特に気にせずにそのままの速度で走行した。
70. 道路が滑りやすい状態のときに効果的なブレーキ操作は、数回に分けて使用する方法である。
71. 停留所で停まっている路面電車の側方を通過する場合、安全地帯がない場合は、必ず一時停止する必要がある。
72. 安全地帯の左側とその前後10m以内の場所は、駐車はしてはいけないが停車はしてもかまわない。
73. 高速道路で車が故障した場合、必要な危険防止措置を取った後は車の中で待機する。
74. 交差点で灯火を横に振っている警察官の身体の正面に対面したので、停止位置で停止した。
75. 図5の標識は、歩行者通行止めを表している。
76. どのような道路でも、歩行者が通行できるだけの幅を残して駐車をしなければならない。
77. 自動車などを運転するときには、その車種やけん引などの状態に応じた免許証を携帯しなければならない。
78. 一方通行の道路では、右側に駐車をしてもよい。
79. 荷物の積み下ろしに人員が必要だったので、出発地の警察署長の許可を受けて荷台に人を乗せて走行した。
80. 二輪車でぬかるみや砂利道を通行する時は、あらかじめ速度をあげて一気に通過する。
81. ブレーキペダルをいっぱい踏んだときに、床板とペダルの間に若干の隙間が必要である。
82. 普通免許を受けて1年未満の者が普通自動車を運転するときは初心者マークをつけなければならないが、普通貨物自動車を運転する時はつけなくてもよい。
83. 図5の標識がある場所では、原付は小回りで右折する。
84. 対向車のライトがまぶしい時は、視点をやや左前方に向けて、目がくらまないようにするとよい。
85. カーブに入る前の直線部分で速度を落とすほうが、安全にカーブを曲がれる。
86. 高速道路の本線車道を通行中、インターチェンジの出口を間違えて通り過ぎた時は、後続車に注意しながら後退して出口まで戻る。
87. 自転車を追い越すときには、自転車のふらつきなどに気をつけながら安全な間隔を取る。
88. 人や積荷を多く積んでいる時は、普段より多めの車間距離をとる必要がある。
89. 図6のような標識がある場所では、青矢印のように進路を変更してはいけない。
90. 進行方向に黄色の点滅信号がある時は、他の交通に注意しながら進行することができる。

図3



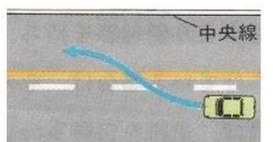
図4



図5



図6



危険予測問題 (本免3)

91. 二輪車で郊外の山中を走行中です。どのようなことに気をつけますか？



- ① カーブに差し掛かる前に十分に減速をし、対向車線にはみ出さないように注意する。
- ② カーブでは十分な速度を保たないと転んでしまう危険があるので、速度は落とさずに走行する。
- ③ カーブの向こう側に駐停車車両が止まっているかもしれないので、できる限り中央線に寄ってよけやすいようにする。

92. 高速道路を時速80kmで走っています。どのようなことに注意して運転しますか？



- ① 高速道路でブレーキを踏むのは危険なので、前の車に向かって警音器を鳴らす。
- ② 前の車のブレーキランプが見えるので、自分も数回ブレーキを踏んで、後続車に注意を促す。
- ③ 急に速度を落とすと危険なので、ハザードランプを点灯させて後続車に注意を促してから速度を落とす。

93. 郊外の道路を時速30kmで走行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



- ① 子供たちが多く、危険が感じられるので徐行をする。
- ② 子供たちが遊びに夢中になっていて、接近してくる自車に気づいていない恐れがあるので、十分に注意する。
- ③ 後続車のバイクにも子供たちの姿は見えているはずなので、急ブレーキをかけたても危険はない。

94. 市街地を時速20kmで走行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



- ① 左側には歩行者がいて危険なので、回避するために中央線をまたいで走行する。
- ② 歩行者が急に横断を始める恐れがあるので、十分に警戒する。
- ③ 歩行者との間に安全な間隔が取れるかわからないので、徐行をする。

95. 高速道路を時速80kmで走行しています。どのようなことに気をつけますか？



- ① 前車との車間距離が短く、危険を感じたので、アクセルを離して緩やかに速度を落とす。
- ② 車高の高い車の後ろでは、前方の状況がつかめないなので、車間距離を長めにとった。
- ③ 前方の状況を把握するために、素早くハンドルを切って走行車線を右に変えた。